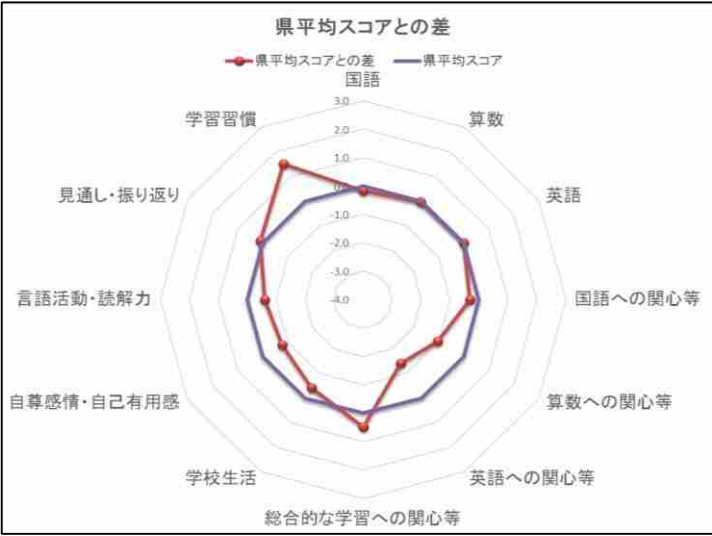


平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立忌部小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○ローマ字や文の構成に関する基礎的な事項はよく理解できている。 ●漢字の読み書きに誤答が多い。 ●「読む」領域の正答率が低く、場面描写をとらえたり、複数の記述を比べたりしながら文章を読むことに課題がある。	・漢字の読み書き、ローマ字のスキル学習を継続する。 ・物語文では、場面の描写や登場人物の心情を読み取る学習を丁寧に行う。また説明文では、キーワードを探索せたり接続詞や文末表現に注目させたりして、各段落の働きや構成をとらえる活動を充実させる。
	算数	○「量と測定」の領域の正答率は高く理解できている。 ○無回答率は0%で、全員が時間配分を考え最後まで問題に取り組んでいる。 ●「図形」の領域の正答率が低く、図形の性質や特徴、合同条件などについての理解が不十分である。 ●小数の除法や異分母分数の計算にも誤答が多い。	・基本的な四則計算(特に小数・分数)のスキル学習を継続する。 ・「図形」では、各図形の特徴や性質を整理してまとめる学習を行うとともに、実際に図形をかく活動を意図的に取り入れ、図形についての感覚を育てるようにする。
6年	国語	○「読むこと」の領域の正答率は県平均を上回り、読み取ったことを資料と対応させながら考えている。 ○「話す・聞く」の領域の正答率も高く、普段から話し合い活動を積極的に取り入れている成果が出ている。 ●読み手にわかりやすい文章を書いたり、資料を整理しながら書いたりする記述式の問題は正答率が低い。	・漢字の読み書き、ローマ字、言語領域(接続語等)のスキル学習を継続する。 ・述べたいことを短文で表したり、要旨をとらえてまとめたりする学習を継続して行う。
	算数	○すべての領域・観点で、正答率が県平均を上回り、基礎学力の定着が図られている。 ○無回答率が低くなり、最後まで問題に取り組んでいる。 ●小数と整数の混ざった計算で、四則計算の順序を間違えやすい。	・基本的な四則計算(小数・分数含む)のスキル学習を継続する。 ・関係を割合で表したり、文字式で表したりすることを丁寧に指導し、数量の関係についていろいろな角度から考察する力を育てる。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	60	54
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 11 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	69	66
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 27 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○めあてをノートに書いて確認したり、振り返りをしたりすることが定着してきている。 ●自分の考えを表現する活動をもっと積極的に行う必要がある。またそれが苦手な児童に対する支援も課題である。 ●資料を活用する学習に抵抗がある児童が多い。	・自分の考えを発表する機会を意図的に取り入れ、教師が児童の言葉をつなぎ、対話を促し、思考が深まるよう支援する。 ・読書が好きな児童の割合が多いことを生かし、興味・関心のある事柄を調べる活動を取り入れるとともに、資料の読み取り方を具体的に示すようにする。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習の習慣はついている児童が多く、予習や復習に計画的に取り組んでいる児童の割合も高い。 ●教師が宿題をていねいに見て返していると感じている児童の割合が低い。	・効果的な家庭学習の仕方について、具体的に内容を示し、指導・支援する必要がある。 ・宿題のノートなどに、肯定的かつ具体的なコメントを書いて返すなどの工夫をする。
6年	授業改善に関わる事項	○グループでの調べ活動、話し合い活動に意欲的に取り組んでいる。 ○教科の学習への意欲も高い。 ●学習したことを生活に生かそうとする意識がやや低い。	・時事問題をテーマにした話題や教材を取り上げ、社会への関心や視野を広げる活動を充実させる。
	家庭学習に関わる事項	○ほとんどの児童が宿題に取り組んでおり、予習・復習をしている児童の割合も多い。 ●自分で計画を立てて家庭学習をしている児童の割合は県平均に比べ低い。	・読み語りやおすすめの本の紹介などの活動継続し、読書への関心を高め、家庭でも本に接する時間を増やす。 ・「家庭学習のしおり」を再確認し、家庭学習の内容の充実に役立てる。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

